

全部が悪かったわけじゃない。意欲もあったし、新しいこともした。ただ、ちょっと空回りが多すぎた。8カ月あまりで終わった「鳩山時代」の功罪と、次の政権に残された課題について考える。

変革期に混乱はつきもののや

元々「脱官僚」という言葉が好きでなかった。人間は色々や。新方針は面白そう、いっちゃかみしたい（かかわりたい）という官僚もいるやろと踏んでた。実際、そうだった。みんなの協力があつたからこそ天下り問題にも着手できたし、JRM民営化から引きずっていた組合員の不採用問

題も和解にこぎつけられた。官僚問題は政治家問題。自民党政権のしがらみが官僚も業界も縛っている。解きほぐすのは大変やったけど、偏見なしにぶつかっていかば分かる。最初は不安でいっぱい。公共事業削減の、最大の標的が国交省管轄のダムや空港だったから。でも、ハラをくった。私は与党や、目の前にあるリアルな課題を、一つ一つ解決していくしかない。

元々「脱官僚」という言葉

辻もと
清美さん



1960年生まれ。早稲田大在学中の83年に民間交流団体「ピースボート」を設立。96年衆院選に民主党から立候補して初当選。

＝松谷常弘撮影

民主党衆議院議員
前国土交通副大臣

題も和解にこぎつけられた。官僚問題は政治家問題。自民党政権のしがらみが官僚も業界も縛っている。解きほぐすのは大変やったけど、偏見なしにぶつかっていかば分かる。

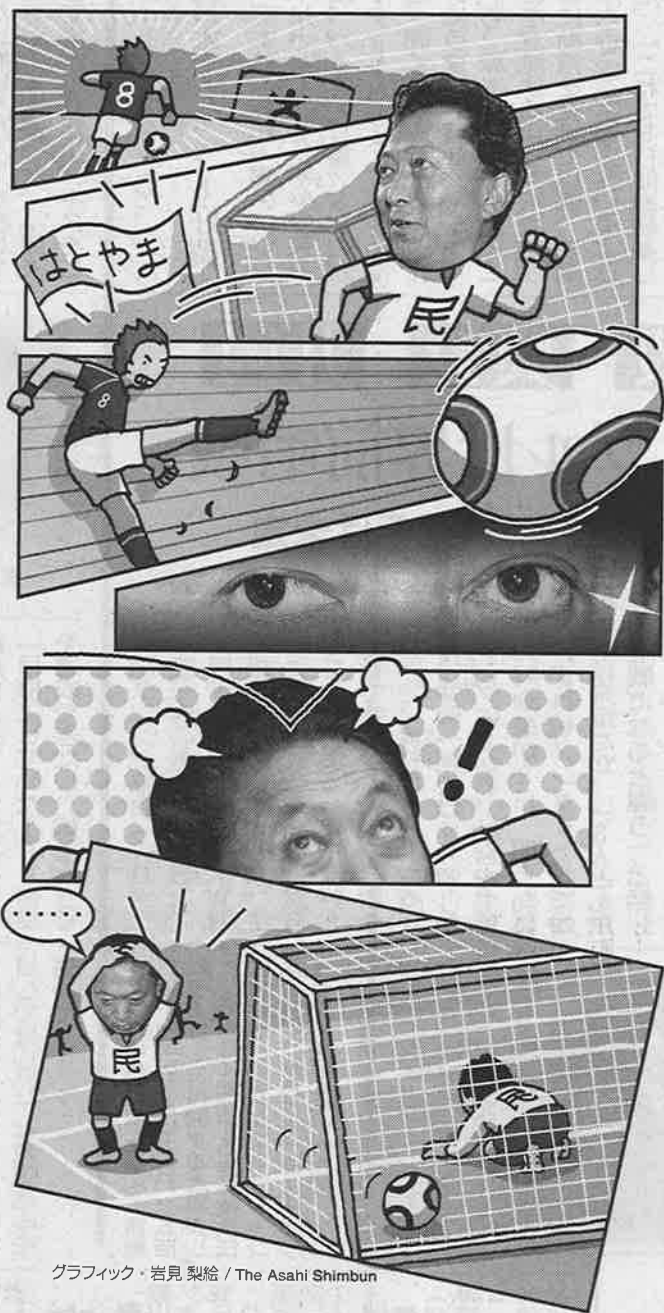
つてくれる人も増えていく。国交省ではこれを「静かな革命」と呼んでた。毎日、充実してた。鳩山由紀夫さんは、理想を語り、挑戦した。「友愛」や「いのちを大切に政治」を打ち出した首相がいましたか。実際、弱い人や自殺者への目配りは利いてた。支持率が下がっていくのは、気にならなかった。変革期に混乱はつきもの。民主主義って、いちいち自分たちで決めていくことだから、時間もコストもかかる。まだ、頭出しの段階やってんけどなあ。

小沢一郎さん？ 過渡期に必要な人やったと思う。旧体制を倒すには、旧体制について熟知している人がおらんと。ただ、新しい民主主義をつくる段階になると、ちょっと違うかな。彼には、権力を市民と再分配しよう、情報を公開しようという志向はなく、手にした権力を、手の内で十分に働かせたいという執念のようなものがあつた。

そんな、古い政治文化のなごりのようなものは、鳩山さんにも時々感じた。鳩山さんも、本心では米軍の沖縄県外移転を望んでいたはず。2日の両院議員総会のあいさつのような、率直な思

いをオバマ米大統領にぶつけたらよかった。外務省や防衛省の意向を酌んだんやろか。辺野古の基地は米軍がベトナム戦争時代から計画してたんで。いつだってウエルカム。沖縄だけが煮え湯を飲まされるプランなんや。民主党にとって、在日米軍基地の整理・縮小・撤去は護憲と並ぶ、大きな党是。海兵隊には一回米国に引き揚げてもらい、ほんまに基地が必要なんか考えてもらいたい。こんななん言ったら、幼稚や言われるかもしれんけど、見ててみ、辺野古基地なんか、あと10年かかってでもでけへんで。

（聞き手・鈴木繁）



グラフィック・岩見 梨絵 / The Asahi Shimbun